

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 自転車、歩行者の交通安全対策について (30分)</p> <p>毎年、鶴ヶ島市交通安全推進議員連盟の総会で、「西入間警察署」交通安全担当者の方から当市の事故状況と安全対策についてお話を伺っております。</p> <p>全国的な死亡事故の特徴として「高齢者の事故」「自転車・歩行者の事故」が多くなっているということですが、これは、鶴ヶ島市も同様の傾向であると聞いております。特に、自転車事故の増加率は最も高くなっているということです。</p> <p>近年、地球温暖化問題などの環境問題や健康への関心が高まる中、自転車の持つ省エネルギーや健康維持といった機能が見直され、自転車を活用した取り組みが各地で行われています。</p> <p>自転車は、身近な乗り物として広く普及していますが、自転車の視点からの道路整備は進んでいないのが現状です。また、歩道走行による事故等自転車はその機能性に見合う正当な評価を得ているとは言えません。</p> <p>4人に1人は高齢者となった当市で、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める上で、交通安全対策はどのように進められているのでしょうか。</p> <p>死亡事故の特徴となっている高齢者と自転車の事故抑止を軸に質問します。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市の交通事故状況について ア 死亡事故の特徴は イ 事故多発地域・路線は</p> <p>(2) 「人」優先の安心・安全な歩行空間の整備について ア 生活道路の安全対策は イ 高齢者の安全対策は</p> <p>(3) 自転車利用環境の整備について ア 道路交通法等の改正についての普及啓発は イ 自転車専用レーンの整備は</p>	市長

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 (仮称) 地域まちづくりセンターへの改編について (30分)</p> <p>鶴ヶ島市は、社会教育や社会福祉の分野での活動が活発で、市民の意識も高い事が特徴であると思います。主体的に市民活動に参加する市民の多くは、各地域の公民館で学んできたのではないのでしょうか。公民館はまちづくりの核となってきたとも言えます。</p> <p>この間、平成27年4月から公民館を「地域まちづくりセンター」に改編する政策についての説明会が行われています。そこでは、公民館を利用している人から、また利用していない人からも発言がありました。</p> <p>公民館から地域まちづくりセンターに変わる事について、市民の間で、様々な意見が出ています。</p> <p>公共施設と生涯学習のあり方という、ハードとソフトのこれからについて、どのように考えればいいのでしょうか。</p> <p>教育振興基本計画の第2期において、持続可能で活力ある社会を構築していくための社会の方向性として、「自立、協働、創造」の三つの理念が重要であるとしています。その上で、これらの理念や現在の教育行政の評価を考慮した今後の教育行政の方向性について、「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の養成」「学びのセーフティネットの構築」「絆(きずな)づくりと活力あるコミュニティの形成」の四つに整理しています。</p> <p>平成16年、鶴ヶ島市市民活動を推進するための検討委員会の最終報告「市民活動に関する基本的な考え方」では、“現役を退いた人が地域の暮らしに目を向け、市民活動へ参加しやすい環境を整備する必要がある”と課題提起しています。</p> <p>(仮称) 地域まちづくりセンターへの改編について、社会教育のあり方を踏まえた市の考え方と市民意見との整合についてうかがいます。</p> <p>(1) まちづくりの視点からの社会教育とは ア 社会教育の目指してきたもの イ これからの社会教育とは</p> <p>(2) 地域まちづくりセンターの目指すもの</p> <p>(3) 市民意見との整合について</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>